

RexAcctScript を変更してアカウントティングファイルにCSV フォーマットを作る方法

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[RexAcctScriptの編集](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、アカウントティング ログ ファイルが CSV 形式を反映するように、RexAcctScript を手動で編集する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Access Registrarのすべてのバージョンに適用されます。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、「[シスコテクニカルティップスの表記法](#)」を参照してください。

RexAcctScriptの編集

課金アプリケーションで使用できるCSV形式をアカウントティングログファイルに反映させるには、手動でRexAcctScriptを編集して再コンパイルします。

ファイルの場所は

- /opt/AlCar1/examples/rexacctscript/AcctAsScript.cpp

アカウントINGの形式を変更するには、次の変更を行います。

Line Number	変更前	変更後
2048	*(pEnd++) = "\n";	*(pEnd++) = ",";
2037	*(pEnd++) = "\t";	*(pEnd++) = " ";

注：" "にはスペースが含まれています。

このスクリプトを正常にコンパイルしてインストールするには、『[REXアカウントINGスクリプトの使用](#)』を参照してください。

アカウントINGファイルの出力は次のようになります。

```
Tue, 26 Sep 2000 17:15:22
```

```
User-Name = sven, NAS-IP-Address = 10.200.68.2, NAS-Port = 2, Service-Type = NAS Prompt,  
Calling-Station-Id = 172.17.246.244, Acct-Status-Type = Start, Acct-Delay-Time = 0,  
Acct-Session-Id = 0000000D, Acct-Authentic = RADIUS, NAS-Port-Type = Virtual,,,,,
```

```
Tue, 26 Sep 2000 17:15:23 User-Name = sven, NAS-IP-Address = 10.200.68.2, NAS-Port = 2,  
Service-Type = NAS Prompt, Calling-Station-Id = 172.17.246.244, Acct-Status-Type = Stop,  
Acct-Delay-Time = 0, Acct-Session-Id = 0000000D, Acct-Authentic = RADIUS,
```

```
Acct-Session-Time = 1, Acct-Terminate-Cause = User Request, NAS-Port-Type = Virtual,,,,,
```

アカウントINGファイルには、各エントリ間にカンマ(",")が含まれるようになりました。

[関連情報](#)

- [拡張ポイントの使用](#)
- [Cisco Access RegistrarアカウントING](#)
- [Cisco Access Registrar サポート ページ](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)